

水槽

ただ今、水槽についてお話するのでありますが、私はむっかし　　といつても、むっかしい年頃の頃ではありませんが　　むかしゼンドリンガー通りに住んでおりました。ゼンドリンガー通りには住めっこありません。ひっきりなしに市電が通っていますからな。ゼンドリンガー通りの並びの家に住んでいたのです。並びの家全部にはなく、そのうちの一軒にです。西隣の家にはさまれた一軒です。皆さんがその家をご存じかどうかは知りませんがね。とにかくそこに住んでおりました。でもその一軒全部にはなく、その二階にです。三階の下で、一階の上です。つまり、その間です。そこから三階へは階段が上がっております。下がってもいました。階段が上がるのではなく、我々が階段を上がるのですが、そういう風に言っんですな。

その家では私は、居間を寝室にしておりました。寝室用の特別な居間を持っていたものですから。で、寝室を居間にしておったんです。そして、居間には道楽から水槽を置いていました。水槽は部屋の隅にありました。すばらしくぴつたりと部屋の隅にはまっております。

丸い水槽にしても良かったんですが、それだと部屋の隅にきっちり納まらなかったでしょう。水槽全体の大きさは、そうですね、二枚のガラス面はこれくらい（手で示す）　　といつても、これは私の腕です。皆さんによりよく理解してもらうために、言っときますが　　これ以上は大きくない。そして、もう二面はこうです。それから下は底です。水を上から注いだ時、下に流れてしまわぬよう、底が水を受け止める訳です。もし底がなかったら、十、二十、三十リットルだって注げますが、全部下から漏れてしまいますわな。鳥籠の場合は話はまったくちがってきます。

鳥籠の場合も仕切りの具合は水槽の場合と同様ですが、ただ鳥籠の場合はそれがガラスではなく、針金できております。水槽ももしそうだったとしたら、もちろん、ひどいナンセンスですな。そんな水槽は水をためられませんから、水は針金の間をだあーっと流れ出してしまうでしょう。だから、すべてがその性質に合わせてうまくできている訳ですな。はい、私は水槽には金魚を飼って

おりました。そして、鳥籠には小鳥です。それが先日、愚かな考えにとりつかれて、金魚を鳥籠に、カナリアを水槽に入れてしまったんです。

当然のことながら金魚は鳥籠の中の横木につかまっておれませんでしたし、カナリアは水槽の中でおぼれかかりました。それで私は何もかも元に戻すことにし、小鳥は鳥籠に、金魚は水槽に、つまりあるべき場所に帰しました。

そうしたところ、金魚はまた楽しそうに水槽を泳ぎまわりました。まず上方へ、それから下の方へ。毎日、ちがう泳ぎ方をするんですな。おととい、私はへまをやつてしまいました。魚にもっと水が必要なように見えたので、私はバケツに一杯分、水を足しました。ところが、それが多すぎたんですね、水は水槽よりもこんなに高く（手で示す）盛り上がってしまいました。でも私はそれに翌日になってから気づいたのです。金魚のうち一匹は、水槽の縁を越えて泳ぎ出し、床に落ちておりました。というのも、水槽の置いてある部屋には下に床があるからですがね。そしてそこに金魚は横たわっていました。もっとも落下し終わってからのことですが。

今や魚は水がありません。なぜなら、水槽の中以外、その部屋には水がないからです。

その時、家主のばあさんが言いました。「魚がその床の上で死にそうだよ、殺してやった方がためだよ」魚が長く苦しめぬように、と私は考えました、ハンマーで打ち殺してやるべきだろうか？自分の指をたたくのが落ちだろう。そこで銃殺にしました。しかし、また考えました。きっと命中しないぞ、そうすると魚は苦しむぞ。それなら、ああした方がずっと利口だ、と私は思いました。それで魚を拾い上げてイーザル川まで運び、おぼれ死にさせたのです。